

月刊 えるぼし

kasugai Free Magazine



私たちは春日井の魅力発信プロジェクトを応援します。

9

2021 SEP vol.102

発行部数
114,700部

無料各戸配布数
112,300部

無料設置数 2,400部



AR **フリAR**を
表紙全体にかざすと
動画が流れます!

巻頭特集
川を、海を、大地をキレイにしたい。
アウトドアの洗い物に革命を。
株式会社五合



ビューティヘルス特集
be ポジティブ

あなたのお気に入りを見つけよう!
パン・カフェ・スイーツ

地元の求人情報が満載! まちJOB ~まちジョブ~



表紙のこぼれ



9月号の表紙は、水だけで汚れを落とすことができる食器「ゼロ・クリア」を開発した小川社長を始めとした株式会社「五合」の皆さんです。五合のことは色々なテレビ番組で紹介されているので、ご存じの方も多いいと思います。しかし、そんな夢のような製品を生み出すまでに様々な困難があったことは、あまり知られていません。巻頭特集で会社の歴史を含め詳しく紹介していますので、ご一読ください。SDGs時代の申し子のようなゼロ・クリアは、これからも更なる進化を遂げて環境社会を牽引していつくれるでしょう。

巻頭特集 川を、海を、大地をキレイにしたい。アウトドアの洗いに革命を。

04 株式会社 五合

あなたのお気に入りを見つけよう!

06 パン・カフェ・スイーツ

ビューティヘルス特集

12 be ポジティブ

おでかけごはん心も身体も満腹に♪

8 グルメガイド

あたらしい自分を見つけよう

18 スクールガイド

はるるオススメ街ネタ情報!

19 エリアインフォメーション

伊藤太市長の

31 ふとしたコラム

知っておこう警察からのお知らせ

31 春日井警察の安全コラム

自慢のお子さん・お孫さんが誌面に登場!

32 Kiss Kiss Kids

春日井市のお知らせ

34 子育て情報

地域のお出かけ情報

39 イベントニュース

春日井とその周辺の求人情報なら!

41 まちJOB

自慢のペットをご紹介!

43 Oh! My Pet

[トレンドニュース]

TREND NEWS

今月のトレンド情報ピックアップ!!

7/21 NEW オープン

ファミリーサロン
俺のカット

カット+シャンプー=2,000円
予約不要のサロンが白山にOPEN!

0568-90-9100
春日井市白山町6-9-5
9:00~19:00
無休
12台

白山駅 白山駅前
白山駅前
白山駅前

7/22 NEW オープン

高級食パン専門店
モチのロン

岸本拓也が手がける高級食パン専門店
小牧に初上陸!一度食べたらわかります!

0568-73-8118
小牧市中央1-186
アメニティゴールド1F
10:00~19:00
不定休 近隣駐車場有
mochi-no-ron-pan.com

小牧駅 小牧駅前
小牧駅前

9/1 NEW オープン

就労継続支援B型事業所
オモロピアB

楽しい仲間、楽しい仕事、高い工賃、
就労継続支援B型事業所が朝宮に開所!

0568-90-8060
春日井市朝宮町3-19-10
有 www.omoropiab.com/

朝宮駅 朝宮駅前
朝宮駅前

9月 NEW オープン

セルフエステ店
セルフのJUST

入会金不要!手ごろな価格!
プロ厳選のマシンでセルフエステ

080-1034-6221
春日井市高森台10-2-3 1-103
9:00~21:00
水
提携パーキング有
just-selfesthe.com

高森駅 高森駅前
高森駅前

男性専門結婚相談所
のぞみお見合い相談室

コロナ禍での婚活応援

AI婚活はじめます!

仲人が長年の経験とAIを活用して
ご縁を結ぶお手伝いをいたします。

春日井市坂下町 5-1215-650
090-8076-9431 (山田)

秘密厳守 相談無料

2021年上半期 全国結婚相談所事業者連盟
成婚優秀賞受賞

9/12(日)に「四柱推命 婚活占い」
を開催します。詳細はP39へ。

地元応援!!地域密着型!!

おうちの御用聞き 家工房

庭木伐採 550円~

草むしり・草刈り 550円~

雨樋掃除・補修 5,500円~

その他
リフォーム等チラシに載っていない
お困りごとでもお気軽にご相談ください!
お近くのすぐ駆け付けます!

50名様限定価格! 0120-734-957

お困りごとはお気軽にご相談ください!

おうちの御用聞き家工房 小牧二重店
小牧市大字二重町19-1
営業時間 9:00~18:00 定休日 日曜日

ご成約で10%OFF

※一部対象外あり ※1家族につき1枚
※他券・他サービスとの併用不可

Googleマップやその他の情報
メールで友達にお店を教えよう

のぞみお見合い相談室

Webはこちら



2020年4月、五合では中京大学総合政策学部坂田隆文教授ゼミの学生に、『ゼロ・クリア』技術を使ったBtoC(企業から消費者へ)商品の企画を依頼し

未来を見据えた 製品作りを視野に エコな『ゼロ・クリア』 技術を世界へ

4月からは自社のECサイトでも販売を開始。価格は大中小3枚の皿と4つのスプーン・フォークのセットが1万3200円(送料・税別)。耐久性が高く、キスがついたら再コーティン

2020年9月に試作を開始。温度や湿度管理に加え、ステンレスへの塗装の難しさから、100個試作して90個が失敗ということもあったそうです。完成後の11月からは、告知の意味も込めて、翌1月までクラウドファンディングを実施。目標金額を大きく上回る大成功を収めました。

「やると決めたからには、この技術を事業化しよう」。そう考えて試行錯誤を重ね、2003年に完全無機塗料『ゼロ・クリア』の販売を開始し、株式会社五合を法人化しました。

「学生さんたちの意見は素晴らしいと思います。さらに自然環境に優しいキャンプギアを作ることは、自分の構想に近いものでもありました」と小川さん。こうして、「水だけで汚れが落ちる」「食器とカトラリー『Earth Gear』の計画が始動。金属加工は新潟県燕三条より製作し、ステンレスを使用し、特許技術の『ゼロ・クリア』加工で塗装した製品です。



「Earth Gear」の広まりが、環境問題を考えるきっかけの一つになれば」と話す小川さん。「今後は、生産の段階から廃棄までを考え、再利用できる素材で製品を開発したいですね。ベンチャーだからこそ可能だと思います」と展望を語ります。春日井発・地球の未来を見据えた取り組みが始まっています。

株式会社 五合
代表取締役
小川宏二さん
KOJI OGAWA

小牧市生まれ。製品の改善提案や発明好きが高じて電気機器関連会社から独立。五合は天井クレーンコントローラ安全システムの開発などで知られるベンチャー企業で、これまで数々の特許を取得。春日井市では2017年にビジネスフォーラム大賞を受賞。同年「愛知ブランド企業」に認定。2019年「はばたく中小企業・小規模事業者300社」、2020年「地域未来牽引企業」認定。

春日井市大手町4-8-10 <http://www.gogoh.jp>

Earth Gear 特設サイト

<https://www.earthgear-gogoh.com>

Earth Gear SHOW

- 油性ペンで書いた汚れが
- 水をスプレーしただけで
- するすると落ちる!



巻頭特集 川を、海を、大地をキレイにしたい。

アウトドアの洗い物に革命を。 株式会社 五合

代表取締役 小川 宏二さん

春日井発・100%無機塗料による 「ゼロ・クリア」自然派ギア 『Earth Gear』開発ストーリー

水だけで汚れを落とすことができる、環境に負荷をかけない食器が話題を呼んでいます。その食器と少量の水スプレーを持参すれば、アウトドアシーンの食器洗いが変わります!



親水性の高い無機塗料の力によって水だけで汚れを落とすエコ食器が誕生

キャンプで自炊をした後、食器を洗うことで美しい自然への影響が気になったり、水場が近くにない、食器の扱いに困ったりという経験はありませんか。

実は、世界的に活躍するアルパインクライマーも愛用の、100%無機塗料を使った食器が春日井で製造・開発されています。

一般的な有機塗料に対し、『ゼロ・クリア』は鉱物などから作られた無機塗料です。無機物は耐久性が高いだけでなく、塗膜化すると口にしても害がなく、環境への影響もありません。また親水性が高いので、ゼロ・クリアを塗ると、水が表面に付いた汚れとの間に入り込み、汚れを浮き上がらせて洗い流すという性質があるため、少量の水で汚れが落ち、防汚性にも優れています。しかし、100%無機物を使った塗料の開発は難しいとされてきました。

「特許を取得し 自社製品を作る」その思いで独立し、七転八倒

従来の概念を覆して、100%無機塗料の『ゼロ・クリア』とエコ食器『Earth Gear』を生み出したのが、株式会社五合の小川宏二さんです。

小川さんは、現在のようにSDG'sや環境保全の意識が高まる前から地球環境について考えてきました。

少年時代から自然や一人旅が好きで、「15歳の頃には、小牧市の自宅から長野県の本曾福島高原まで自転車で旅をしました」と笑います。

電気機器関連会社に勤め、電子制御機器の製造などに携わり管理職に。大手メーカーへVA提案(既存製品の改善)をして採用されるなど、ものづくりにへの情熱とアイデアが満ちていました。

2000年、34歳で独立。「下請けではなく、特許をとって自社製品を作ろう」と思ったからです。元の勤務先にはものづくりの原点を教わったので感謝しています」と話します。

それからは苦勞の連続でした。「24歳で結婚して、34歳には

すでに子どもが3人いたので必死でした。副業で、夜間にトラックを運転して配送をしていました」。昼間は自社製品を考えて企業に売り込む日々。心身は限界に近づいていました。ネジ溝のアイデアが転機の一つになりました。

「特許出願を考えて、トップ企業に売り込みの電話をしたところ、担当の方が無償でアイデアを軌道修正し、特許出願書のアドバイスをくれたのです。窮地に救いの手が差し伸べられることが何度かあり、奇跡的に好転しました」と振り返ります。

また、当時は製造管理のコンサルタントとしても活動。機械部品の塗装会社へアドバイスをし、関わった会社の売り上げが伸びたことから、県内の塗装業界で名が知られるように。すると知見が見込まれ、ある無機塗料の開発者から「業務を引き継いで欲しい」と依頼がありました。

「無機塗料による塗装は、かつて愛知や岐阜で用いられた窯業の技術。昭和50年代に開発され衰退しています。自分の専門分野とは違いますが、難度の高さもあり、半年間悩みました。しかし小川さんには「愛知の塗装技術を残したい」という強い思いもあり、継承を決意。